

# 地震研究所彙報原稿作成要領

## 1. ファイル形式

受け付け可能なファイル形式は、Microsoft Word ファイルまたは PDF ファイルである。

表の説明，表，図の順に構成し，通しの頁番号をつけること。

## 2. 原稿の構成

原稿は，表題，要旨，キーワード，本文，文献，図

## 3. 表 題

表題，著者名，所属研究機関名などの書き方は，下の見本にならうこと。

## 『地震研究所彙報』原稿作成要領

地震花子<sup>1)</sup>・火山太郎<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 東京大学地震研究所・<sup>2)</sup> 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻

## How to Write Manuscripts for Contribution to Bulletin of Earthquake Research Institute

Hanako Jishin<sup>1)\*</sup>, Tarou Kazan<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> Earthquake Research Institute, The University of Tokyo

<sup>2)</sup> Department of Earth and Planetary Science, The University of Tokyo

## 4. 要 旨

(a) 本文の前に英文要旨をつけること。本文が英文の場合，論文の最後に和文要旨をつけることができる。

(b) 要旨は，本文の主要な内容がわかるよう簡潔に書くこと。本文中の図，表，式などを参照せず，要旨それ自身で完結するように書くこと。

(c) 本文中における文献の引用は「著者の姓（発表年）」とすること。共著の文献については，著者が2名の場合は「第一・第二」もしくは「First and Second」，3名以上の場合は「第一・他」もしくは「First *et al.*」のように記す。また，括弧書きで引用する場合は，「(第一・他, 2001; First and Second, 2005, 2008; 第一, 2013)」のように記す。

## 5. キーワード

(a) キーワード（5つ以内）を，要旨の下に英文でつけること。

(b) 和文要旨をつける場合は，和文のキーワードもつけること。

## 7. 図，表

(a) 図，表は，明瞭なものを用意すること。

(b) 図，表の説明文は英文とすること。

(c) 図中の文字，記号などは，刷り上がりが1mm以下にならないようにすること。

## 6. 本 文

(a) 和文の場合，句読点には .（ピリオド）および ,（コンマ）を使用すること。

(b) 本文は「1., 2., 3., ...」のように節に区切り，必要に応じて「2.1, 2.2」などのように小節を用いること。

(d) 図及び表には Fig. 1, Table 1 のように通し番号をつけること。

(e) 図面の縮率または刷り上がりの大きさを指定しておくこと。

(f) 写真は図に準じて取り扱うこと。

Table 1. Some physical properties of the inner planets of the Solar System

Name	Radius (m)	Mass (kg)	Density (kg/m <sup>3</sup> )
Mercury	$2.440 \times 10^6$	$3.301 \times 10^{23}$	$5.43 \times 10^3$
Venus	$6.052 \times 10^6$	$4.869 \times 10^{24}$	$5.20 \times 10^3$
Earth	$6.357 \times 10^6$	$5.972 \times 10^{24}$	$5.51 \times 10^3$
Mars	$3.397 \times 10^6$	$6.419 \times 10^{23}$	$3.93 \times 10^3$

(g) 表の体裁は原則として次の例にならうこと。

(h) 図、表などの挿入場所は、本文原稿中の右余白に指定すること。

(i) 色刷（カラー）、折込図面、その他特殊の印刷または製本様式が必要な場合は、学術報告委員会に相談すること。

(j) 図、表を色刷（カラー）にする場合、原稿に記しておくこと。

## 8. データ

データ論文の場合、研究データは原則として東京大学学術機関リポジトリ（UTokyo Repository）において公開するものとする。あらかじめ登録しておいたりリポジトリの URL を、原稿中に明記すること。

## 9. 文 献

(a) 引用文献は以下の例に従ってまとめること（巻はゴチックとし、欧文誌名はイタリックとする）。

Ioki, K. and Y. Tanioka, 2016, Re-estimated fault model of the 17th century great earthquake off Hokkaido using tsunami deposit data, *Earth Planet. Sci. Lett.*, **433**, 133–138.

Minato, S., T. Tsuji, S. Ohmi and T. Matsuoka, 2012, Monitoring seismic velocity change caused by the 2011 Tohoku-oki earthquake using ambient noise records, *Geophys. Res. Lett.*, **39**, L09309, doi:10.1029/2012GL051405.

Weaver, J.T., 1994, *Mathematical methods for Geoelectromagnetic Induction*, John Wiley & Sons Inc., New York, 316 pp.

Hasegawa, A. and J. Nakajima, 2004, *Geophysical*

constraints on slab subduction and arc magmatism, in “*State of the Planet: Frontiers and Challenges in Geophysics*”, edited by R.S.J. Sparks and C.J. Hawkesworth, *Geophysical Monograph*, 150, AGU, Washington, D.C., pp. 81–94.

篠原雅尚・平田 直・松田滋夫, 1997, GPS 時計付き地震観測用大容量デジタルレコーダ, *地震 II*, **50**, 119–124.

高橋正樹, 2000, 「島弧・マグマ・テクトニクス」, 東京大学出版会, 322 頁.

佐藤泰夫, 1973, 通信調査, 河角広編「防災科学技術シリーズ 地震災害」, 共立出版, 226–241.

原田智也・室谷智子・佐竹健治・古村孝志, 2014, 1944 年東南海地震のアンケート調査による震度分布, 日本地震学会講演予稿集 2014 年度秋季大会, S10-P08.

(b) 論文等が英文で書かれている場合は、和文文献の引用も英文（訳）とし下の例のように文献名の後に（in Japanese）を付記すること。

Sekiya, H., 1976, The seismicity preceding earthquakes and its significance to earthquake prediction, *Zisin*, **29**, 299–311 (in Japanese).

(c) 論文等が和文で書かれている場合は、和文文献は和文、英文文献は英文でそれぞれ引用すること。

(d) 文献リストは著者名のアルファベット順とすること。第一著者が同一の文献が複数ある場合は、単著の文献（発表年順）、著者 2 名の文献（第二著者名のアルファベット順、第二著者も同一の場合は発表年順）、著者 3 名以上の文献（発表年順）の順とする。

しばしば引用される雑誌名の略記例を以下に示す.

名 称	英文略記例
地震研究所彙報	<i>Bull. Earthq. Res. Inst., Univ. Tokyo</i>
地震研究所彙報別冊	<i>Bull. Earthq. Res. Inst., Univ. Tokyo, Suppl.</i>
地震研究所彙報速報	<i>Spec. Bull. Earthq. Res. Inst., Univ. Tokyo</i>
地学雑誌	<i>J. Geogr.</i>
地質学雑誌	<i>J. Geol. Soc. Japan</i>
火山	<i>Bull. Volcanol. Soc. Japan</i>
地震	<i>Zisin</i>
American Journal of Science	<i>Amer. J. Sci.</i>
Bulletin of the Seismological Society of America	<i>Bull. Seism. Soc. Amer.</i>
Bulletin of Volcanology	<i>Bull. Volcanol.</i>
Earth, Planets and Space	<i>Earth Planets Space</i>
Earth and Planetary Science Letters	<i>Earth Planet. Sci. Lett.</i>
Eos, Transactions, American Geophysical Union	<i>Eos Trans. Amer. Geophys. Union</i>
Geochemistry, Geophysics, Geosystems	<i>Geochem. Geophys. Geosyst.</i>
Geological Society of America Bulletin	<i>Geol. Soc. Amer. Bull.</i>
Geophysical Journal International	<i>Geophys. J. Int.</i>
Geophysical Journal of the Royal Astronomical Society	<i>Geophys. J. Roy. Astr. Soc.</i>
Geophysical Research Letters	<i>Geophys. Res. Lett.</i>
Journal of Geophysical Research	<i>J. Geophys. Res.</i>
Journal of Petrology	<i>J. Petrol.</i>
Journal of Physics of the Earth	<i>J. Phys. Earth</i>
Journal of Volcanology and Geothermal Research	<i>J. Volcanol. Geotherm. Res.</i>
Nature Geoscience	<i>Nat. Geosci.</i>
Philosophical Transactions of the Royal Society of London, Series A	<i>Phil. Trans. Roy. Soc. London, A</i>
Physics of the Earth and Planetary Interiors	<i>Phys. Earth Planet. Inter.</i>
Pure and Applied Geophysics	<i>Pure Appl. Geophys.</i>
Reviews of Geophysics	<i>Rev. Geophys.</i>